



表紙	1
もくじ	2
年頭のごあいさつ	2 - 3
2014トピックス	4
稲葉篤紀さんが やって来た!	4 - 5
ぼくの夢わたしの夢	6 - 7
パブリック・コメント	8
知っていますか? 自治基本条例	9
名寄市立大学の窓から ～知への誘い～	10
サークル紹介	11
まなびの部屋	12 - 13
健康ガイド	14 - 15
男女共同参画社会の 実現をめざして	16
名寄のもち米を使った 美味しいレシピ	17
フォトでお知らせ - 広報版 -	18 - 19
こども未来課からのお知らせ	20 - 21
国民健康保険のお知らせ 高額医療費が変わります!	22
暮らしのお知らせ	23 - 25
裏表紙	
* 市民カレンダー	
* ひとのうごき	
* Airてっし	
	26

年頭のごあいさつ

あけましておめでとうございませう

昨年4月に市長二期目のスタートを切ることができました。市民の皆さまはもとより、多くの諸先輩方のご支援ご指導のお陰であり、感謝申し上げます。

8月に局地的な豪雨災害があり、名寄市も全国ニュースで取り上げられ、田畑や河川、道路など大きな被害もありました。被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。我々は天塩川をはじめとする豊富な水資源、山野に囲まれた厳しくも豊かな自然環境とともに生活をしています。あらためて大自然に畏敬の念を払いつつ、その恩恵を最大限享受しながら、いざという時のためにしっかりと備え、持続可能な地域社会を構築していくことが大切です。

地方創生が大きなテーマとなり、人口減少問題が日本全体に警鐘を鳴らした昨年1年でもありました。問題のポイントは、①日本の合計特殊出生率(※1)の低さ、②特に出生率の低い東京・札幌への地方からの人口移転です。





名寄市長 加藤 剛士

地方の人口減少に歯止めをかけるべく、30万人以上の「地方中枢拠点都市」に投資を集中するといった政府方針もあるようですが、広大な面積を有し、人口が分散している北海道に通用するのでしょうか。北・北海道中央圏域定住自立圏(※2)の中心市である名寄市が、士別市とともに、都市機能をしつかり守りぬくことが、広域での地域振興にとって、とても重要な課題です。

地方からアイデアを出し、それに国が応えていく。今あるべき地方創生の姿です。そのために大切なことは、そこに住む市民が、名寄市を愛し、いかに活性化するか。まちづくりの基本は人です。

名寄市の先人の皆さまは、開拓者精神で常にアイデアを出し、弛まぬ努力を重ねられて、素晴らしい財産を築かれました。その土台・大きな財産を大切に、市民の皆さまとしっかりと向き合い、対話を大切にしながら、持続可能な地域社会のために、「挑戦」するのみです。

今年も、どうぞよろしく願います。

※1 合計特殊出生率

1人の女性が生涯に何人の子どもを産むかを表す数値。15〜49歳の女性の年齢別出生率を合計したものである。日本の合計特殊出生率は1・43、東京都1・13(いずれも2013年)、札幌市で1・08(2012年)。この率が2・08のとき、人口を維持することができる。

※2 北・北海道中央圏域定住自立圏

定住自立圏とは、一定の都市機能を有する市と周辺の市町村とが、農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、相互に役割分担し、連携・協力することにより、暮らしに必要な生活機能を確保し、圏域の活性化を図るための、全国的に展開される広域連携の取り組み。北・北海道中央圏域定住自立圏は名寄市と士別市を中心市として、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町(上川管内)、西興部村(オホーツク管内)、枝幸町、浜頓別町および中頓別町(宗谷管内)の13市町村で構成される。